

一般質問



大橋 議員

○「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の変更等を受けての学校の対応について

【質】11月25日に新型コロナウイルスの基本的対処方針の変更が行われております。国民への周知等というところで、国民に対し、基本的な感染対策を徹底することに加え、飲食はなるべく少人数で黙食を基本とし、会話をする際にはマスクの着用を徹底することという文言が今般の変更により、当該記述が削除されました。それを受け11月29日に文科省のほうからも黙食を求めないという通知が全国的に発出されていると思います。文部大臣も、そもそも求めていないと言っています。従前から必ず黙食をすることを求めているところですので。そこでひとつ決断をしていただいて、もう3学期からはいいじゃないかと、やろうじゃないかというふうな熱意を持って答えていただけないかなと私は思っているんですけれども、いかがでしょうか。

【教育長】学校給食の黙食から会話を可能とする食事への移行については、保護者の意見を踏まえるとともに、校長会との協議の場を設け、各

学校の校長の意見を十分に聞いた上で検討していきたいと考えています。

○松浦市社会福祉協議会への運営費補助金の資金使途について

【質】ずっと取り崩しをしてきている財政調整積立資産というのがありますが、5年前は8千万円以上ありました。令和3年3月では2400万円取り崩して4千万円に減っている。このまま取り崩しを続けると、あと5、6年で枯渇するんじゃないかなと私は見えています。それに対して今現状、毎年3千万円行政は運営費として出されているわけです。それを踏まえた上でまた取り崩しが行われているわけですが、介護保険事業も毎年2千万円のマイナスが出ている。これは杜協が本当にお金回らなくなってきたときにどうするつもりなのか。そのあたりは市長、どのようなお考えでしょうか。

【市長】社会福祉協議会は、公共性が強い民間団体であるため、採算だけにとらわれない、地域に密着したサービスに取り組むことが求められています。削減するところは社会福祉協議会に努力していただいて見直しを行ってもらおう。その上で、本来の社会福祉協議会としての役割を今まで以上に発揮していただき、必要なところは市が手当てをしなければならぬと考えています。

一般質問



中塚 議員

○新型コロナウイルス接種後の後遺症の相談窓口について

【質】松浦市はコロナワクチン接種後の状況についてどのような把握をされているのか。また、今後、松浦市としてコロナに対して何らかの独自性を持った情報収集なり、対策なりをお考えなのかお尋ねします。

【健康ほけん課長】市に相談があった場合は、健康ほけん課で対応しており、医学的知見が必要な相談の場合、かかりつけ医か接種された医療機関への相談、長崎県コールセンターへの相談を案内しています。情報収集については、医療機関から市に報告をする義務がないので、市が情報収集をするすべはありません。ただ、任意で医療機関から副反応についての報告がある場合があり、その分については把握しています。

○新型コロナウイルス感染後の後遺症の相談窓口について

【質】コロナワクチン感染後の状況、情報収集については、どのような把握をされているのか。

【健康ほけん課長】新型コロナウイルスに感染したことに伴う後遺症も、

市に相談があった場合には、医学的知見が必要な相談の場合は、まずはかかりつけ医や地元の医療機関への相談を案内をしています。また、長崎県・受診相談センターの案内もしています。

情報収集については、感染された方が県に報告をする、もしくは陽性が出た機関から県に報告するという流れになっており、保健所では把握をされていますが、ワクチン接種後の後遺症と同様、市町村であったとしても、情報は流していただいていません。松浦市としては、庁内で情報の共有は行っていますが、それ以外については、保健所等からの情報が得られるということはない状況です。

このほかに、「松浦市民を犠牲にした薬剤高額購入の福島診療所問題について」「多額税金の無駄使いと違法行為のつばき荘問題について」「松浦市農業委員会会長の強制わいせつで逮捕された件について」「松浦市役所鷹島支所職員、公金着服して懲戒免職になった件について」質問しています。